

2015 年 10 月 14 日

## 第26回「緑の環境デザイン賞」・特別企画「おもてなしの庭」、 第35回「緑の都市賞」の受賞者決定について

第一生命保険株式会社(社長:渡邊 光一郎)が公益財団法人都市緑化機構と共催する第 26 回「緑の環境デザイン賞」・特別企画「おもてなしの庭」、および特別協賛する第 35 回「緑の都市賞」の受賞者が別紙のとおり決定しました。

### 1. 第 26 回「緑の環境デザイン賞」 (主催:公益財団法人都市緑化機構、当社)

緑豊かな都市環境で育まれる人と自然とのふれあいやコミュニティ醸成、環境保全に役立つことを目的として、全国から緑化プランを募集して優秀作を表彰するとともに、そのプランの実現のために 800 万円を上限として整備費を助成するもので、今回国土交通大臣賞等が決定しました。

#### ○「緑の環境デザイン賞」特別企画『おもてなしの庭』(東京都限定)

東京都が2014年12月に公表した「東京都長期ビジョン～『世界一の都市・東京』の実現を目指して～」の中で、2020年の東京の姿として、おもてなしの精神が全世界に発信されていることを目指していることにちなみ、東京都内の花と緑で観光客を迎える優れた緑化プランに対し、2,020 万円を上限として整備費を助成するもので、今回「おもてなしの庭」大賞等が決定しました。

### 2. 第 35 回「緑の都市賞」 (主催:公益財団法人都市緑化機構 特別協賛:当社)

樹木や花、水辺などの「みどり」を用いた環境の改善、景観の向上、地域社会の活性化、青少年の育成等に取り組み、環境や社会に対する貢献の実績と成果をあげている団体等を顕彰するもので、今回内閣総理大臣賞、国土交通大臣賞等が決定しました。

なお第 26 回「緑の環境デザイン賞」、特別企画「おもてなしの庭」、および第 35 回「緑の都市賞」の受賞者を対象とし、11 月 9 日(月)にホテルオークラ東京にて表彰式を開催する予定です。

当社は、DSR(Dai-ichi's Social Responsibility:第一生命グループの社会的責任)経営の一環として、「健康の増進」「豊かな次世代社会の創造」「環境の保全」を社会貢献活動の中心取組テーマに掲げ社会課題の解決に取り組んでいます。

(別紙1)第 26 回「緑の環境デザイン賞」審査結果



(別紙2)「緑の環境デザイン賞」特別企画『おもてなしの庭』審査結果

(別紙3)第 35 回「緑の都市賞」審査結果




## 第26回「緑の環境デザイン賞」審査結果

第26回「緑の環境デザイン賞」(緑化プラン部門)には、全国から27点の応募があり、2015年9月15日の審査会において次の作品の受賞を決定しました。

### ◎国土交通大臣賞<2点>

受賞者名	プラン名/緑化場所	プラン概要	
恵み野 商店会	恵み野商店街 「ガーデンギャラリー」 の創出 (北海道恵庭市)	歩道のバリアフリー化の改修工事にあわせ、既存の花壇を改修し、「ガーデンギャラリー」として個性的なガーデンが並ぶ彩りあるメインストリートを創出するプラン。コニファー(針葉樹)や宿根草を多用し、管理負担を軽減しながらも折々の花が楽しめる花壇づくりを目指す。	
特定非営利 活動法人 グラウンドワーク 三島	水の山・富士山力を 実感 「三島・緑と水の杜・ 三島梅花藻の里」 整備構想 (静岡県三島市)	「緑と水の杜」は、近隣の緑や水の環境資源のネットワークを形成するとともに、回遊性を高めることを目指すプラン。絶滅危惧種ミシマバイカモの保全や淡水魚の生息域の保護を図るなど、生き物等を通した子どもたちの実践的な環境教育の場の創出を目指す。	

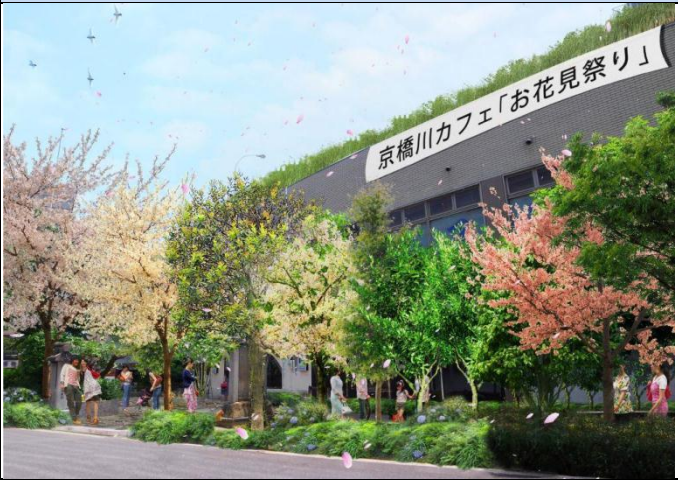
### ◎緑化大賞<3点>

受賞者名	プラン名/緑化場所	プラン概要	
こよなく 北三番丁公園 を愛する会	北三番丁公園 「Healing Flower Garden (癒しの花園)」 (宮城県仙台市)	開園後50年経過し、植物の衰退化、単種化が進んだ公園で、地域住民の力で再生しようとするプラン。市の花である「ハギ」や宿根草、多年草を主体に植栽し、管理負担を軽減しつつも、四季の花々が楽しめる「癒しの花園」づくりを目指す。	
特定非営利活 動法人メリー ポピンズの会	中山ちどり 屋上庭園 リニューアル事業 (兵庫県宝塚市)	高齢者福祉施設の屋上に、「明るく、楽しい」庭を創出しようとするプラン。高齢者の五感を刺激する、香の高い花木、果樹等や、子どもも高齢者も楽しめる菜園を設ける。同会をはじめ、幼稚園や大学、住民等幅広い参画により管理・運営する。	
社会福祉法人 浄水会 平尾保育園	平尾の森 (福岡県福岡市)	フェンスや構造物を境界部からセットバックさせ、保育園が接する道路空間の安全性・快適性の向上を図るプラン。在来品種を用い福岡らしい森づくりを目指す。また、自然石の石積みは、ベンチや花壇に応用できるように、利用面にも工夫を図っている。	


## 緑の環境デザイン賞 特別企画『おもてなしの庭』審査結果

今回は6件の応募があり、2015年9月15日の審査会において次の作品の受賞を決定しました。

### ◎大賞<1点>

受賞者名	作品名	場所
特定非営利活動法人 京橋川再生の会	京橋大根河岸おもてなしの庭	東京都中央区
プラン概要		プランイメージ
<p>先のオリンピックで埋め立てられ高速道路となってしまった京橋川の、江戸時代には大根をはじめとする野菜の取引が行われていた橋詰広場を再生し、「和の文化」を発信する場として、茶の湯の精神を活かした「都市の庭」をつくるプラン。露路、茶花を配し、ひな祭り、七夕、月見、野点を行い、「京橋川カフェ」として国内外からの観光客をお迎えし、おもてなしを行っていく場を創出する。</p>		


### ◎特別賞<1点>

受賞者名	作品名	場所
三菱地所株式会社	ホトリア広場～交流の森～	東京都千代田区
プラン概要		プランイメージ
<p>東京の顔であり多数の観光客で賑わう丸の内の中で、「皇居」エリアと「東京駅」エリアを結ぶ結節点として、人・環境・生物を繋ぐ「交流の森」を創出するプラン。国内外からの来訪者を、この地に根ざした自然環境と歴史が調和した空間でお出迎えし、約 2,800 m<sup>2</sup>もの広さを活かしたコミュニティ活動とイベントの実施により、人々が集い、憩うことができる「おもてなしの空間」を創出する。</p>		




## 第 35 回「緑の都市賞」審査結果

第 35 回「緑の都市賞」は、全国から 48 点の応募があり 2015 年9月3日の第一次審査委員会、現地調査および9月 28 日の第二次審査委員会を経て、次の団体の受賞を決定しました。




### ◎内閣総理大臣賞<1点>

受賞部門	受賞者名	施設名/場所	概要	
緑の市民協働部門	泉佐野丘陵緑地 パーククラブ  大輪会	大阪府営 泉佐野丘陵緑地 (大阪府泉佐野市)	市民ボランティア(パーククラブ)、それを支援する企業グループ(大輪会)、行政の連携により実施する公園の整備、管理、運営活動。「大規模公園における地域、企業、行政の協働による公園づくり」の先駆的事例となっている。	



### ◎国土交通大臣賞<3点>

受賞部門	受賞者名	施設名/場所	概要	
緑の市民協働部門	千里竹の会	桃山公園内の竹林 他、計4か所  (大阪府吹田市及び豊中市)	地域住民による千里ニュータウンの荒廃した竹林を整備するとともに、竹細工づくり等、地域社会の発展に貢献することを目的とした活動で、地域の安全性の確保や地域環境改善など多様な成果をもたらしている。	
緑の事業活動部門	三井不動産 柏の葉街づくり推進部 柏の葉アーバンデザインセンター 千葉大学大学院園芸学研究科 オンサイト計画設計事務所 東京大学フューチャーセンター 推進機構	柏の葉ゲートスクエアおよび柏の葉キャンパス駅西口駅前広場・西口駅前通り  (千葉県柏市)	多様な主体が参画する「柏の葉アーバンデザインセンター」の緑地計画・運営企画により、一体的な都市緑地デザインの実現に取り組んでいる。多様なライフスタイルの場面で緑を活かすまちづくりとなっている。	
緑の事業活動部門	東京建物株式会社  大成建設株式会社 一級建築士事務所	大手町の森  (東京都千代田区)	「都市を再生しながら自然を再生する」というコンセプトの具現化を目指し創出された緑地。綿密な調査や検証を重ね、林立するビル群の中であって、自然の存在感を感じることできる「都市の森」をつくりだした。	

◎都市緑化機構会長賞<3点>

受賞部門	受賞者名	施設名/場所	概要	
緑の市民協働部門	公益財団法人 鎌倉風致保存会	御谷山林, 笹目緑地, 十二所果樹園, 旧板井邸緑地 (神奈川県鎌倉市)	地域の趣やたたずまいを壊さないよう、自然と歴史が一体となった景観を守り、後世に伝えていく活動。市民及び企業ボランティアにより、参加型イベントや子供のふれあい体験等を実施し、緑の保全の普及啓発につなげている。	
緑の事業活動部門	株式会社三五	ECO35 (愛知県名古屋市中区)	敷地周辺の緑との繋がりを意識し、都心の土地に、自然豊かな緑の環境を再生することをコンセプトとした工場跡地の緑化。従業員や地域の参加による植樹や多様な生き物を育むビオトープづくりなどが行われている。	
緑のまちづくり部門	新潟市	新潟県新潟市	河川改修で生まれた水辺空間を有効活用するため「やすらぎ堤」等の緑地整備に取り組み、市民協働による植栽、緑地を活かした各種イベントを開催するなど、地域住民、NPO、企業と連携した保全、再生の取組みを進めている。	

◎奨励賞<3点>

受賞部門	受賞者名	施設名/場所	概要	
緑の市民協働部門	南大塚都電沿線協議会	大塚バラロード (東京都豊島区)	有志により街を美しくきれいにする活動を始め、500種 710株のバラが育つバラロードを創出。高齢者から子供も参加しコミュニケーションの輪が広がる。高齢者の生きがい作りとして「バラ見守り隊」を結成するなど、バラを介した、「活気あるまち大塚」に取り組んでいる。	
緑の事業活動部門	長野県厚生農業協同組合連合会佐久総合病院 佐久医療センター 株式会社日建設計 綿半鋼機株式会社	J A 長野厚生連 佐久総合病院 佐久医療センター いきいきの森 (長野県佐久市)	公園のように誰もが緑を楽しめる医療空間づくりを目指し、その一環として地域性種苗によるふるさとの森づくりを病院職員、地域の方々との協働により行っている。建築工事の支障となった既存の樹木を移植するなど地域に親しまれてきた緑の継承に努めている。	
緑のまちづくり部門	豊田市	愛知県豊田市	「水と緑につつまれたものづくり・環境先進都市」をテーマに、緑化地域制度等により都心中心部の緑化を推進しているほか、「見える緑」の創出を目指し、道路、公共空地等の積極的な緑化や緑の普及啓発活動に取り組んでいる。	